

イノシシ（鹿）に遭遇した時の注意事項について

イノシシは本来、臆病でおとなしい動物であり、通常、人と出会ってもイノシシの方から逃げるので、あわてる必要はありません。しかし、イノシシが興奮していたり、発情期（晩秋～冬）や分娩後で攻撃的になっていたり、至近距離で突然出会った場合には注意が必要です。



【イノシシに遭遇した時の対応について】

① 落ち着いてゆっくり行動しましょう

イノシシに出会ったら、静かにその場を離れましょう。イノシシに背中を見せたり、走って逃げたりすると向かってくることがあるので、ゆっくりと後ずさりしながら離れてください。また、近くに建物などがあれば、屋内に避難してください。

イノシシの威嚇行動として、背中を逆立てる、音を発する（例：シュー、カッカッカッ、クチャクチャ）場合があります。このような行動が見られた場合はくれぐれも注意してください。

② こちらから攻撃したり、威嚇したりしてはいけません。

棒を振り上げたり、石を投げたりしてイノシシを刺激すると、逆上したイノシシが襲ってくることもあるため、大変危険です。

③ 「うり坊」を見かけても、近づいてはいけません。

うり坊（イノシシの幼獣）を見かけても、近くに母イノシシがいる可能性が高いので、近づいたり追いかけてりしてはいけません。興味本位で写真を撮らず、すぐにその場を離れてください。また、食べ物を与えることはしないでください。人への警戒心を低下させ、人が食べ物の供給源だと学習してしまい、人の生活圏への出没を助長させてしまいます。

④ どうしても接近を避けられない場合

イノシシにとって、人がいる方向にしか逃げ道がない場合は、イノシシが向かってくる場合があります。接近が避けられない場合は、イノシシに逃げ道を明け渡しつつ、安全な場所に避難してください。

（例は→イノシシから人間が見えない場所、イノシシが簡単に登れない場所や木に登ることも有効）

クマに遭遇した場合の対策

• 熊の出没時期は春～秋（冬眠前の秋は特に活発になる）。性格は、基本的には臆病だが、子連れや人に慣れた個体は危険である。

【注意点】

- クマ鈴など、日頃から音を鳴らせる物を常備し、接近を防ぐ。
- 遭遇したら、騒がず、落ち着いてゆっくり後退。（ザック、バッグを持っている時は、それを置いてゆっくり後退。熊がバッグに夢中になっている隙に、遠ざかる。）
- 目をそらさず、背中を見せない。（決して走らない）
- 特に、親子グマに注意する。
- クマが攻撃してきたら、両腕（バッグ等）で顔や頭をカバーし、体を丸くして地面に伏せて防御する。

